

Beyond 5G国際カンファレンスの開催結果について

Beyond 5G推進に必要な研究開発等の要素についての国際的な動向を把握するとともに、我が国及び海外の産学官それぞれの観点からのBeyond 5G推進に向けた取組の共有を通じて、Beyond 5G推進に向けた産官学による国際連携（研究開発と社会実装）について検討を行った。

開催概要

- 【日時】2024年2月1日（木）13:30～18:15、2日（金）9:30～17:05
- 【開催方法】現地開催及びオンライン開催
- 【会場】ホテルニューオータニ東京 芙蓉の間
- 【主催】総務省、Beyond 5G推進コンソーシアム
- 【参加】現地：260名（延べ数）、オンライン：1,078名（大使館関係者を含む）



五神理研理事長挨拶



尾上ITU-T局長講演

主なアジェンダ（Day1）

○1日目は、B5Gに向けた各国政府、国内外ベンダの取組状況を中心に発表。

- 五神理研理事長（コンソ会長）から開会挨拶。
- 政府セッションとして、米・韓・フィンランド・独から、各国のB5Gに向けた取組が共有され、国際連携に向けた期待が表明された。
 - ✓ 米国 Cullinane 国務省二国間・地域担当課長：セキュリティ、サプライチェーン対策
 - ✓ 韓国 Cho MSIT革新ネットワークチーム長：研究開発の方向性・重点分野、Pre-6Gデモ
 - ✓ フィンランド Eiro 運輸通信省データ・安全・セキュリティ局長：研究開発状況、セキュリティ対策
 - ✓ ドイツ Klüwer BMBF技術主権・革新研究局長：研究開発状況、日本との連携
- 国内外のベンダから、以下について講演。



左上：米国、右上：韓国
左下：フィンランド、右下：独

- ✓ エリクソン Ewerbring アジア・太平洋地域CTO：5G/6Gの継続的な研究開発の重要性
 - ✓ ファーウェイ Tong ワイヤレスCTO：AGI（汎用人工知能）の活用、センシングとの統合
 - ✓ ノキア Vetter ベル研究所コア研究部門長：6Gネットワークの技術設計
 - ✓ クアルコム Smee エンジニアリング担当SVP：技術開発の状況、AIの活用
 - ✓ NEC 渡辺コーポレート・エグゼクティブ：B5Gに向けたビジョンと取組、共同研究
 - ✓ シャープ 種谷CTO：IoT、R2X、V2XなどエッジAIの活用への期待
 - ✓ 富士通 水野EVP：オープンネットワークの重要性、AI技術との融合
- 尾上ITU-T局長が特別講演。今後の移動通信の発展への期待及び先進国だけでなく途上国にも資する研究開発の重要性について指摘。



※1日目夜にはレセプションを開催。約100名が参加し、ネットワーキングの場を提供。

主なアジェンダ (Day2)

○2日目午前は、B5Gに向けたNICT・国内キャリアにおける研究開発動向等について報告。

- 徳田NICT理事長（コンソ副会長）が特別講演。NICTにおける研究開発の状況や大阪万博におけるデモについて紹介。
- Beyond 5G推進コンソーシアムから、国際委員会技術分科会スケーラビリティ・高周波WG及び白書分科会の活動状況について報告。
- NTT持株会社及び携帯キャリア3社の執行役員から、各社の取組を中心に以下について講演。
 - ✓ NTT 大西研究開発マーケティング本部長：IOWN、tsuzumiによるSocial Well-beingの実現
 - ✓ KDDI 要海CNO：つなぐチカラとデジタルツインの進化による社会課題の解決、スペースX社との連携
 - ✓ ソフトバンク 関和CNO：能登半島地震対応、HAPSの研究開発・標準化活動、AI-RANの推進
 - ✓ 楽天モバイル 大坂先端技術開発本部長：オープンRANの高度化、衛星携帯電話の研究開発の推進



徳田NICT理事長講演

○2日目午後は、B5Gに向けた各国政府や海外6G推進団体、研究機関等を交えたセッションを中心に開催。

- 政府セッションでは、田原局長から、Beyond 5Gに向けた研究開発課題やB5G基金等の最近の政策、標準化活動について紹介。英・伯・印から、各国の**B5Gに向けた取組が共有され、我が国を含めた国際連携に向けた期待が表明された。**
 - ✓ 英国 Creek DSITデジタルインフラ課長代理：英国の6G戦略
 - ✓ ブラジル Tercius通信省電気通信局長：5Gの展開状況、B5Gに向けた政府の取組
 - ✓ インド Jerard通信省電気通信局次長：5Gの展開状況、B5Gに向けた研究開発、政府の取組・支援
- 海外団体セッションでは、Next G Alliance（米）、6G-IA（EU）、Bharat 6G Alliance（印）から各団体の取組を中心に紹介。
- パネルディスカッションでは、6G技術や国際的な推進・開発への期待について、関係者が意見交換。**様々な研究分野において国際連携を進めるべく、6G技術やユースケースを共有していくことがB5G実現に向けて重要**であることを確認。
参加者：中尾東大教授（コンソ国際委員長、モデレータ）、6G Flagship（フィンランド）、PAWR（米）、6G Forum（韓）
- 吉田5GMF会長（コンソ副会長）から閉会挨拶



左から、日本、英国、ブラジル、インド政府



左から、NGA、6G-IA、Bharat 6G Alliance



パネルディスカッション